

教科	国語	単元名	漢字の形と音、意味
----	----	-----	-----------

## 本時のねらい

同じ部分をもつ漢字を簡単にあつめることで、漢字には、意味を表す「へん・つくり」が使われていることを理解することができる。

## 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・支援が必要な児童に対して、視覚的支援、音声入力支援を行うことで、集中したり、粘り強く取り組めるようにしたりする。
- ・調べ方を共有することで、調べる方法を増やし、選択できるようにする。
- ・オクリンクで簡単に自分の調べたことや、友達の頑張りに気付くことで、意欲的に、粘り強く取り組めるようにする。

## 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・PowerPoint
- ・Safari
- ・ミライシード（オクリンク）
- ・Chrome
- ・大型モニター
- ・iPad

## 本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (10分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元の見直し、本時の見直しを確認する。</li> <li>・新出漢字の学習【写真1】</li> <li>・めあての確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1字しか表示しないことで、その文字に集中することができる。</li> <li>・1画1画、PowerPoint で表示し、視覚支援を行う。</li> </ul>
めあて 同じ部分をもつ漢字の意味のつながりを考えよう		
展開 (28分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ぎょうにんべんを例に、「へんやつくり」の復習</li> <li>・「ぎょうにんべん」をブラウザアプリで調べる。</li> <li>・「ぎょうにんべん」をもつ漢字をブラウザアプリで調べ、オクリンクのボードに集めていく。【写真2】</li> <li>・集めた漢字を発表し、「ぎょうにんべん」の意味や使われ方を考え、まとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要に応じて音声入力を利用する。</li> <li>・調べ方には、たくさん方法があるため、途中で調べ方を共有する等、全員が見つけれられるようにする。</li> <li>・Live モニタリング機能で、全員の進捗を可視化することで、自分の学習の到達度や友だちの頑張りに気付かせる。</li> </ul>
まとめ (7分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他のへんである「にくつき」でたしかめる。【写真3】</li> <li>・うかんむり等の別の「へん・つくり」を調べていくことを予告する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入の新出漢字や、教科書のイラストを、大型モニターやオクリンクに掲示し、考える材料を提供する。</li> </ul>

## 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真1】大型モニターに注目し、漢字の形や書き順の学習を行っている場面



【写真2】ブラウザアプリを利用して、同じ部分をもつ漢字を調べている場面



【写真3】オクリンクにある資料を見て、同じ部分をもつ漢字の共通点を確認する場面

## 児童生徒の反応や変容

- ・新出漢字の学習では、一文字ずつ表示させたことで、集中して学習に取り組むことができた。また、一画一画、大型モニターに映し出させるため、今自分はどの部分を空書きしているのかも視覚的に捉えられ、漢字ドリルにも丁寧に書き込むことができていた。
- ・調べ方を共有することで、目的のものが見つからないときは、様々な方法を試すことができるようになった。
- ・進捗状況を可視化することで、自分の状態や友だちの頑張りに気付くことができ、さらに取り組もうとする姿勢が見られた。

## 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・視覚支援を行うためには、「今、なにをしているのか」をしっかりと明示する必要がある。ただ拡大するのではなく、一画一画表示する等の工夫を行うことは効果的だった。漢字の書き順だけでなく、どんな場面でも ICT を上手に活用し、「今、なにをしているか」を明示していきたい。
- ・タイピングに課題がある児童も音声入力を活用して、多くの児童と意見を交流することができるため、深い学びにつながっている。